

新潟県 建設技術センターだより

Niigata Construction Technology Center

2020
秋号
Autumn

市町村紹介コーナー

新発田市

[下越エリア]

内の倉ダム湖畔

灌漑(かんがい)・上水道・発電・洪水調節など

多目的で作られた内の倉ダム。

湖畔には広い公園があり、

豊かな自然と三王子岳を望むことができます。

秋には燃え立つようなブナ・モミジの紅葉が湖面に映え、

美しい光景が広がります。

CONTENTS

■特集

02 市町村紹介コーナー
新発田市

04 発注者支援事業紹介

05 「研究助成事業」募集のご案内
Made in 新潟 新技術展示・発表会

06 第2回 にいがた「道」フォトコンテスト
作品募集中

■センターINDEX

07 雪のこぼ・雪のころ

08 編集後記

08 新潟の地酒巡り

金升酒造

新発田の恵みを活かした
酒造りと酒蔵の佇まい

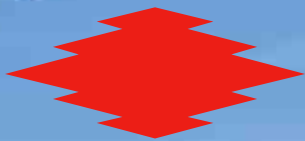


一般財団法人

新潟県建設技術センター <http://www.niigata-ctc.or.jp/>

〒950-1101 新潟市西区山田2522-18 TEL.025-267-4804 FAX.025-267-4854

☎0120-733-308



新発田市

Shibata

新発田市のプロフィール

面積 / 533.10km²

人口 / 96,444人(令和2年7月31日現在)

世帯数 / 36,954世帯(同上)

<http://www.city.shibata.lg.jp>

新発田市は越後平野(新潟平野)の北部に位置し、県都新潟市に隣接する新潟県北部の都市です。

北西には白砂青松(はくしゃせいしょう)と形容される美しい海岸が広がり、南東の山岳地帯には豊かな自然景観に恵まれた磐梯朝日国立公園、胎内二王子県立自然公園があります。また、かつて東洋一といわれた堤桜を有する加治川の水系によって潤う肥沃な土地が広がっており、県内有数の良質米コシヒカリの産地でもあります。

市街地には、新発田城や清水園、足軽長屋などの重要文化財が多く残り、歴史と文化の薫る街並みが広がっています。



\ pick up! /

月岡温泉

県内随一、国内でも有数の硫黄含有量を誇る月岡温泉には、近年、個性的な店舗が続々オープン。日帰り観光スポットとしても魅力的な温泉街にアップデートされ、年間50万人の観光客が訪れます。



新潟地酒 蔵〜KURA〜

県内の全酒造から、「90」ものプレミアムな銘柄の美酒が一堂に集結!600円でおちょこ3杯試飲でき、お土産として購入も可能です。



新潟米菓 田〜DEN〜

家族みんなで楽しめる、新潟ならではのオリジナル煎餅作り体験。手焼きや絵付けができて、世界でたった1つの煎餅を焼けます。



新潟粉物 米〜BEI〜

米粉うどん作り体験や、米粉を使った月岡の新名物スイーツ「うさぎ焼き」などを集めたセレクトショップ!米どころ新潟の新しい魅力を感じられます。



新潟ショコラ 甘〜AMAMI〜

新潟産の本格ショコラを集めた甘いショップ。チョコレートの試食や販売のほかショコラドリンクもあるので、月岡の街歩きにぴったりです!



新潟地物 旨〜UMAMI〜

無料のあつあつご飯を片手に、新潟の旨味を試食三昧!干物や海産物、さらには味噌やダシ、漬物、糍ドリンクなど豊富なメニューを用意しています。



新潟飲物 香〜KAORI〜

新潟の“香る飲み物”を楽しめるお店。新潟北限の紅茶や緑茶、雪室コーヒーなどを無料で試飲可能。上越市、「岩の原葡萄園」のプレミアムワインも有料試飲して購入できます。



新潟菜果 実〜MINORI〜

魚沼の酒蔵「八海山」の麴甘酒や、地元「安田ヨーグルト」とフルーツ&野菜をブレンドしたスムージーが人気です。魚沼の「ハスキーゼラート」も月岡温泉初登場!

高齢者を含む全ての人々が、安心して快適に楽しめる社会環境づくりに貢献した宿や旅館ホテル組合に贈られる、第23回「人に優しい地域の宿づくり賞」厚生労働大臣賞(最高賞)を受賞!!



主催:全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

空き店舗を
県産品の販売店に
リノベーションし、
温泉街の回遊性を
高めました。



Topics!

発注者支援事業紹介



一級河川駒林川 防安(3か年)掘削・重点 築堤・護岸 工事

工事概要

駒林川は阿賀野市境新田地内を最上流端として、旧水原町のほぼ中央を流下し、安野川と近接する区間で旧小里川(農業用排水路)を取り込み、新井郷川の左岸へ合流する中小河川です。

当工事は、駒林川河道計画のうち右岸に家屋、公園、農業施設等が近接するため左岸を拡幅する区間で、併せて竹林の保全等にも考慮しながら曲線施工が容易なブロックマット護岸を設置することで、水原市街地を中心とした浸水被害の軽減を目的とする工事です。

工事内容

工事名 / 平成30年度 防3掘重 第0001-05-00-0号
一級河川駒林川 防安(3か年)掘削・重点 築堤・護岸 工事

工期 / 平成31年3月～令和2年3月

発注者 / 新潟県 新発田地域整備局 地域整備部 治水課

工事内容 / 延長 L=334m
築堤工 V=815m³
護岸工 A=1785m²
排水路工 L=260m



現場技術員 から一言

現場技術員 小坂 光平

当工事は浸水被害の軽減を目的とした河川改修事業であり、護岸に多自然型護岸の「ブロックマット」を採用した現場でした。

護岸の根入れは不可視部となるため、設計値以上あるかの確認を立会時に確実に実施しました。また、護岸工は非出水期の施工という現場制約がありましたが、監督員・施工業者と密に連絡をとりながら施工管理を行うことで、無事竣工を迎えることができました。

今後も、発注者支援業務を通して品質の良い成果品の提供ができるよう業務に努めたいと思います。

研究助成事業 募集のご案内



新潟県が抱える地域特有の課題解決を図ることや地域活性化に資することなどを目的として、様々な調査研究、活動を行っている研究者及び団体等を支援する「研究助成事業」を実施しています。

当センターでは、この事業を通じて私たちが暮らす新潟県が実りある未来を実現するために「地域社会の安全・安心」と「地域社会の健全な発展」をキーワードに今後も幅広く地域に貢献していきたいと考えています。

今年度も令和2年11月16日(月)から令和3年1月29日(金)までを募集期間としていますので、奮ってご応募下さい。

募集要項等の詳細は、
当センターホームページを
ご覧下さい。



<http://www.niigata-ctc.or.jp/kyoryoku/jyoseijigyou.html>

実績(令和元年度募集、令和2年度助成)

調査研究(8件)

- 新潟大学
 - ・実構造物におけるコンクリート品質の空間変動が耐久性評価に及ぼす影響に関する研究(その2)
 - ・機械学習を用いた漏水現象が発生する上下水道の非破壊状態評価法の開発
 - ・大雪による車両滞留・立ち往生の潜在的リスク評価に関する事業
- 長岡技術科学大学
 - ・新潟県における実構造物の塩害劣化予測とその検証に関する事業
 - ・狹隘(きょうあい)敷地の地盤液状化対策技術の開発
 - ・橋梁RC床版の長寿命化に資する橋面舗装表層用砕石マッシュアップの配合設計に関する事業
- 新潟工科大学
 - ・RC構造物の劣化の実態調査に関する事業
- 一般社団法人 新潟県コンクリートメンテナンス研究会
 - ・新潟県におけるコンクリート構造物の品質確保を目的とした施工方法の実験的検討および実務者のリカレント教育を推進する事業

活動(7件)

- 長生橋を愛する会
 - ・長生橋ライトアップの充実と長生橋フォーラム開催事業
- にいがた土木女子会議(NDJ)
 - ・建設産業における女性定着支援に関する活動
- 雪崩講習会実行委員会
 - ・雪崩講習会の開催に関する活動(3年計画-3年次)
- 特定非営利活動法人 新潟水辺の会
 - ・鳥屋野潟両岸をつなぐ防災・環境舟運の親子体験会
- 加茂農林高等学校
 - ・ホテルが舞う故郷の再生に関する事業
- 子どもの元気は地域の元気プロジェクト
 - ・離島留学制度を活用した親子移住の受入による地域活性化事業
- 特定非営利活動法人 したの里
 - ・新潟県「峠サミット2020in三条」及び八十里越トレッキングルート安全整備に関する事業

今年度はこれらの
取り組みを
支援しています!



Made in 新潟 新技術 展示・発表会

「Made in 新潟 新技術普及・活用制度」に登録されている、新潟県内の企業が開発した土木・建設分野の新技術について、その活用事例や実物の展示・発表会を行います。

詳しくは、Made in 新潟 ホームページ
<http://www.shingijutu-niigata.jp/>
をご参照下さい。

開催日 11月26日(木)

会場 朱鷺メッセ メインホール



令和2年度
第2回
クリエイティブ
セミナーも
同時開催予定

第2回

にいがた「道」フォトコンテスト

作品募集中

ふだん、何気なく使っている「道」。

そんな新潟県内の道に対する魅力や愛着を写真で表現してみませんか。

テーマ：新潟県の「道」 新潟県内の道であれば道路の種別は問いません。

応募先：〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1「新潟県土木部道路建設課企画調整係」へ郵送

〒950-0022 新潟市東区幸栄2-23-16 (株)新潟フジカラー総合企画室内

「にいがた「道」フォトコンテスト係」へ郵送

もしくは、県内の新潟フジカラー取扱専門店までご持参ください。

応募締切：令和2年12月18日(当日消印有効)

賞／入選～最優秀賞

【一般部門】賞金3千円～賞金5万円・賞状

【学生部門】図書カード1千円分～図書カード1万円分・賞状

***** 第1回にいがた「道」フォトコンテスト入賞作品 *****



【一般部門】最優秀賞



【学生部門】最優秀賞



【一般部門】審査員特別賞



【学生部門】審査員特別賞

お問い合わせ先

新潟県土木部道路建設課企画調整係

TEL:025-280-5406

主催:にいがた「道」フォトコンテスト実行委員会(新潟県土木部、新潟市土木部、

(一財)新潟県建設技術センター、NPO法人にいがた地域創造センター)

後援:国土交通省北陸地方整備局、東日本高速道路(株)新潟支社、新潟県道路整備協会

協賛:(株)新潟フジカラー

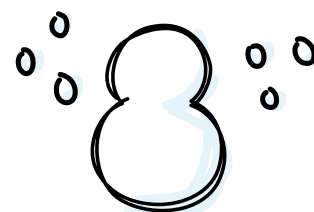
詳しくは、検索 /

にいがた「道」フォト



<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/road-photo-contest/>

雪のことは・雪のころ



雪害と新型コロナウイルス感染症2(今年の冬に向けて)

国立研究開発法人防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 上石 勲

本誌2020夏号を書いたのは2020年5月24日で、日本国内では新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言による活動の制限により、感染が拡大した東京、大阪などの大都市圏でも、感染者数は減少の方向に向かっているとの情報が流れていました。この原稿を書いている2020年8月16日には新規感染者が東京で300人、全国では1000人を超えるまで再び増加し、クラスターが各地で発生しているとの報道がなされています。

新潟県南魚沼市の建設業者の社長さんと先日話す機会がありました。社長さんは、道路除雪業者のまとめ役をしており、今年の冬は新型コロナウイルス感染症が非常に心配で危機感を持っていらっしゃいました。というのは、除雪車では、狭いキャビンでオペレーターが2人で作業を行うため、写真のようにソーシャルディスタンスを保つことが難しい現状とのこと。



写真 狭いキャビンでの2人による除雪作業
(提供 南魚沼市 町田建設株式会社)

また、新型コロナウイルス感染者が除雪業者から出た場合、その除雪業者が一斉に作業ができなくなることも想定され、担当している道路の除雪が遅れることも危惧されていました。除雪作業は堆雪中に隠れているガードレールや浮き上がっているマンホールの蓋など道路の構造を熟知していなければなりません。

そのため、他の業者がすぐに新しい路線の除雪をスムーズにできるかという点、なかなか難しいということでした。

高速道路では、降雪が予測された場合に除雪オペレーターはあらかじめ除雪車を雪氷基地に詰めて、降雪状況に対応した除雪作業を実施する体制を組んでいます。高速道路会社の方にお聞きしたところ、各雪氷基地には複数のパーティーが配置されますが、各オペレーターの三密対策と、パーティー内で感染者が発生しても、他のパーティーに感染させない対策として、プレハブの別棟を臨時増築し、スペース確保を行う予定であるとの情報もお聞きしています。

2018年1月11日、新潟市では1日で80cmの大量降雪によって道路除雪が滞り、市内の渋滞と公共交通機関の混雑が続きました。三条市では、大雪のためJR信越線の列車が半日以上も立ち往生しました。これがコロナ禍での発生となると、三密の回避と換気が十分にできない状態が長い時間続くことが危惧されます。

2005年12月22日には、湿ったみぞれ交じりの暴風雪によって電線に着雪し、新潟市やその周辺では大規模な停電が丸1日以上続きました。これにコロナ禍が重なると、やはり、悪条件な状態に長時間さらされることが予想されます。この時は病院も停電してしまいました。重症患者は人工呼吸器を装着しますので、長時間の停電は命に関わる大きな問題となる可能性があります。

1666年には寛文高田地震が発生し、高田市史によると、約4mの積雪の中、大地震が起き、高田城のほか、武士の家700戸と町家の大半が崩壊。夕食時だったため火災が起き、雪壁で逃げ場を失うなど多くの死傷者が出たとされています。このような複合災害がコロナ禍で発生した場合、避難所へは多くの人が集中すると考えられ、三密を避けることは非常に難しいことが想定されます。

いずれにしても想像を働かせ、この状況下で冬の課題を想定して対策を考えておくことが大事で、その情報を関係者と共有できればと思います。雪が降る前の想定と準備、雪国の知恵がいまこそ必要です。

特集

vol.15

新潟の地酒巡り

全国的にも評価が高い新潟の清酒。
そのおいしさの秘密を紹介します。

新発田市の酒蔵

金升酒造

新発田の恵みを活かした酒造りと酒蔵の佇まい

旧くから阿賀北の米どころで、飯豊山系の豊富で良質な伏流水を享受し、夏暑く、冬寒い気候の下、酒造りを続けて参りました。

また酒と云うモノのみならず「酒蔵の佇まい」と云うコトを皆様にお届けしております。二つの蔵や庭園などを散策し、蔵カフェで此処ならではの味わいを体験してください(現下は早期再開を目指して休止中です)。



代表取締役社長
高橋 綱男



1.『金升 朱(あか)』自社製造の米焼酎を添加した「柱焼酎仕込み」の清酒。味わい豊かで喉ごし滑らか。 2.『特別純米 初花』原料米「越淡麗」は新発田市郊外の棚田で杜氏自らが栽培。芳醇な味わい。 3.『本格米焼酎かねます 檜樽貯蔵長期熟成』新潟では数少ない焼酎蔵でもある金升。オーク樽が育む香り良く濃厚な味わいの蒸留酒。



金升酒造株式会社
〒957-0016
新潟県新発田市豊町1-9-30
TEL. 0254-22-3131
FAX. 0254-22-7377
<https://www.kanemasu-sake.co.jp/>

此処に在るモノと

此処で受け継がれたコトを活かしたい。

1822年、新潟県北蒲原郡岡方村長戸呂(現・新潟市)で創業した当酒蔵。1883年に濁川村名目所(現・新潟市)への移転を経て、1930年、三代目高橋松平(うんべい)が、旧新発田藩主溝口侯御菜園(薬草園)跡地(現・新発田市)へ蔵を移しました。新発田への移転の理由として、松平は以下の条件を挙げました。

- 1.水の便よろしき事
- 2.米産地の中央たるべき事
- 3.交通上至便の地たるべき事
- 4.販売地域の拡大たるべき事
- 5.都会地に近接し、子女の教育上便利たるべき事

蔵が新発田に移転して今年は90年目にあたりますが、酒造りが地域に根差したものであることは現在も変わりません。2017年には地元農家と農業法人を設立、以来、酒米の自社栽培に本格的に取り組み地産製造の一貫した酒造りに力を入れています。

また当酒蔵は戦前からの蒸留酒メーカーでもあります。定番の米焼酎をはじめ、下越地方各地で収穫される芋類を原料とした焼酎をOEM生産しております。更に、醸造アルコールに代えて自社製造の米焼酎を添加する「柱焼酎仕込み」(元禄時代の酒造指南書に記されています)は、当酒蔵ならではの全国的にも稀有な製法です。

一方で一號蔵・二號蔵が並び建つ佇まいを活かした酒蔵業を志向しております。現状はコロナ禍による制約はありますが、構内に蔵カフェをオープン、名匠・田中泰阿弥による作庭の庭園見学も行なっております。当酒蔵主催の「蔵まつり」をはじめ、現役の酒蔵をさまざまな催しや撮影ロケ地としてもご利用いただくことで、開かれた蔵であるよう意識しています。

編集後記

爽やかな秋晴れと色彩豊かな紅葉を楽しめる季節になりました。当センターの広報誌に寄稿していただいた皆様には、厚くお礼申し上げます。

今号は「にいがた「道」フォトコンテスト」の作品募集を掲載しております。入賞目指して写真を撮影し応募されてみてはいかがでしょうか。

また、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として手洗いや消毒、3密(密閉・密集・密接)の回避など「新しい生活様式」の取り組みが求められる中、基本的な感染予防をしっかり行いつつ感染拡大が早期に収束するよう切に願っております。

編集委員 試験部 山口 敏彦

